学校番号	１０８

令和２年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　日本史Ａ　新訂版」　（清水書院）						
副教材等	最新日本史図表　三訂版　（第一学習社） 日本史重要語句 Check List 2020　（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・講義形式だけでなく、自ら考え、発言できるような授業形態をとります。
・単語の暗記ではなく、歴史的事実に関する原因・結果の因果関係を理解し、また、その歴史事実が現在の自分にどうかかわるのかを考えます。
・資料の読み取りなども積極的に行います。
・中学校で習ったことが基礎知識としてあることを前提に進めます。教科書は事前に目を通して置いてください。

2　学習の到達目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見いだし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界史的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	提出課題 ワークシート	定期テスト 提出課題 レポート	ワークシート	定期テスト レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	私たちの時代と歴史	・日本の近代化とアイヌの人権 ・近代・現代とはどういう時代であったか	○ ○	 ○	 ○	○ 	a: 自分自身の経験と関連させながら 2000年代以降の社会のようすに関心を持っている。 b: 設定された主題について、多角的、多面的に考察している。 c: 日常の題材のなかからみずからテーマを設定して、情報の収集や調査を行い、まとめている。 d: 現代と、過去との関連性、世界史との関連性などを理解している。	ワークシート 提出課題
	近代の日本世界	・国際環境の変化と幕藩体制の動揺 ・明治維新と近代国家の形成 ・立憲政体の成立と国際的地位の向上	○ ○ 	 ○	 ○	 ○	a: 江戸時代後半の国内・対外情勢と、明治維新期の近代化政策とのつながりについて、世界史的な視野や関心を持って、意欲的に追究しようとしている。 b: 江戸時代後半の国内・対外情勢と、明治維新期の近代化政策とのつながりについて、世界史的な視野や関心を持って、意欲的に追究しようとしている。 c: 明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢が密接に関係し進められたことを理解し、その過程で日清・日露戦争が起きたことと、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこない、さらには産業革命が進展したことなどを多面的・多角的に、資料や図表などの読み取りをもとに捉えている。 d: 幕末の政治状況から、明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解している。	定期考査 ワークシート 提出課題 レポート
2学期	大戦期の世界と日本	・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	 ○	○ ○	 ○	○ ○	a: 二つの世界大戦が日本の社会や、世界との関係にどのような影響を与えたか、そのことが現代とどのようなかかわりがあるかという関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考査 ワークシート 提出課題 レポート

2学期	大戦期の世界と日本	・第一次世界大戦と日本 ・第二次世界大戦と日本	 ○	○ ○	 ○	○ ○	b: 第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がりと、大正期における政党政治の展開、それに関連して大正期にさまざまな社会運動が活発になったにもかかわらず、昭和に入り軍部の台頭し、これにともなう政治的な状況の変化が起こった背景について多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 満州事変から敗戦に至る戦争の原因や総力戦としての性格、その影響と平和の意義に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: 中国・アメリカを中心とした国際関係の変化と国内問題との関連性に着目しながら、第一次大戦から第二次大戦に至る過程を理解し、その過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解し、平和の意義を理解し、その知識を身につけている。	定期考査 ワークシート 提出課題 レポート
	現代の世界と日本	・戦後政治の動向と国際社会	○	○		○	a: 敗戦後の諸改革と、現代にまで続く課題に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b: 敗戦後の政治・経済の動向と、国際政治・経済の動向との関連性を、多面的・多角的に考察し、その過程の結果を適切に表現している。 c: 現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け、歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d: 敗戦後の占領下における民主主義的改革の内容と、独立後の政治の推移を理解するとともに、経済復興から高度経済成長を経て経済大国となった経過と、国内外に与えた影響について、多角的に知識を身につけている。	
3学期		・経済の発展と国民生活の変化 ・現代の日本と世界	 ○	○ 	 ○	○ 		定期考査 ワークシート 提出課題 レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。